

(様式2)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:平成29年度】

※1～6:所管課記入、7:指定管理者記入、8～9:指定管理者及び所管課記入、10:指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	建設部都市まちづくり課(松本建設事務所)
指定管理者	TOY BOX

1 施設名等

施設名	長野県松本平広域公園	住所	松本市神林5300
		電話	0263-57-2211
		ホームページ	https://shinshu-skypark.net/

2 施設の概要

設置年月	平成 6年 4月	根拠条例等	長野県都市公園条例
設置目的	住民福祉の増進に寄与することを目的として、一般住民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため。		
施設内容	競技スポーツゾーン 陸上競技場、補助競技場、球技場、相撲競技場、庭球競技場、体育館、国体の森、ピクニック広場、マレットゴルフ場 ターミナルゾーン やまびこドーム、シンボル広場、イベント広場、大型木製遊具、展望台、ふれる彫刻 ファミリースポーツゾーン 南管理棟、サイクルセンター、パターゴルフ場、大芝生広場、木製遊具、ニュースポーツ 野と花のゾーン 展望広場、ワイルドフラワー園、玉石広場、風の丘 花のプロムナードゾーン バラ園、花木の小径 みどりのプロムナードゾーン ストリートバスケットコート、クライミングウォール、壁打ちテニスコート みどりの交流ゾーン 総合球技場(アルウィン)、芝生グラウンド、多目的広場、マレットゴルフ場 開園面積:141.6ha		
利用料金	有料施設:陸上競技場、補助競技場、球技場、相撲競技場、庭球競技場、体育館、総合球技場、芝生グラウンド、やまびこドーム、パターゴルフ場等(施設により料金は異なる。)		
開所日	年中無休		
開所時間	8:30～22:00		

3 現指定管理者前の管理運営状況

期 間	管 理 形 態	管理受託者又は指定管理者等
～平成17年度	管理委託	財団法人長野県公園公社
平成18年度～20年度	指定管理	TOY BOX
平成21年度～25年度	指定管理	TOY BOX

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	TOY BOX	指定期間	平成26年 4月 1日 ～ 31年 3月31日(5年間)
選定方法	公募(応募者数:1)		

5 指定管理料(決算ベース)

平成29年度(A)	平成28年度(B)	差(A)-(B)	※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ)
385,226 千円	387,521 千円	-2,295 千円	
増減理由	経費縮減に伴う支出の削減、光熱水費の高騰による支出増加分、消費税増税に伴うH26利用料金改定による増収分を差し引いたこと、H28年度等の備品数増加に伴う保守点検業務等による増加。		

6 指定管理者が行う業務

(1) 都市公園(建物、備品等を含む)の維持管理に関する業務及びこれに付帯する業務
(2) スポーツ施設等の利用許可及び利用料金に関する業務並びにこれに付帯する業務

7 利用実績等

(1) 利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼働率】

(単位:人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成29年度(A)	70,235	69,185	172,799	75,614	47,303	74,056	175,820	53,482	14,305	13,496	12,565	22,308	801,168
平成28年度(B)	44,649	80,457	179,743	57,110	167,488	62,900	176,097	97,407	13,619	13,604	13,806	51,473	958,353
(A)/(B)	157.3	86.0	96.1	132.4	28.2	117.7	99.8	54.9	105.0	99.2	91.0	43.3	83.6
増減要因等	減少要因:11月・3月J2試合数減(△80,000)、5月:イベント時期変更(△5,000)、8月陸上大会不開催(△100,000) 増加要因:4月ドームイベント増(23,000)、7・9月J2リーグ利用者数増(24,000)												

(2) 利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成29年度(A)	7,980	7,762	12,237	9,676	6,019	9,239	9,609	5,784	2,616	2,637	1,946	2,967	78,472
平成28年度(B)	5,707	8,390	14,258	6,237	8,562	8,625	7,881	9,930	2,524	2,355	2,233	6,669	83,371
(A)/(B)	139.8	92.5	85.8	155.1	70.3	107.1	121.9	58.2	103.6	112.0	87.1	44.5	94.1
増減要因等	減少要因:6月キリンチャレンジカップ不開催、天皇杯開催(△1,500千円)、8月・11月・3月J2リーグ戦等開催収入減(△8,600千円)、8月陸上大会不開催(△200千円) 増加要因:4月ドームイベント増(2,000千円)、7・9・10月J2リーグ試合数増(3,100千円)、10月マツダイイベント(760千円)												

(様式2)

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
有・ 無	

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
平成29年度(A):365日 平成28年度(B):365日	平成29年度(A):8:30~22:00 平成28年度(B):8:30~22:00	有・ 無	

(5) サービス向上のため実施した内容

<ul style="list-style-type: none"> 公園を利用される皆様に向けて、マナーとモラル向上のため、一目で分かり易いイラスト等を入れた利用案内看板を増設した。 スタッフが自ら積極的に調査や修繕を行い、不具合があった場合には「DIM=Do It Myself」を合言葉に迅速に修繕を実施し、サービス向上とコスト削減を体現した。 天井ヒーター使用のトイレを暖房効果の高いパネルヒーターに変更し冬期の利便性を図った。 園内放送が聞こえにくかった競技スポーツゾーンの体育館北側にて、放送エリア拡大のためスピーカーを増設した。 落ち葉を有効活用して頂くため、園路の落葉を来園者の皆様と一緒に集め持ち帰るイベントを実施し、好評を得た。 庭球場の人工芝の砂の充填をはじめ、安全性の向上のため遊具の周りの砂入れ等を実施した。

(6) その他実施した取組内容

<ul style="list-style-type: none"> 松本マラソンやリレーマラソン等、園内を走るイベントにおいて主催者と事前打ち合わせを重ね、来園者との事故無く終えることができた。 県と共催で初めて緑化講習会をおこなった。講習内容も多岐に渡り緑化に対して関心を持って頂く機会となった。 セグウェイインストラクターの資格を活用し、信州チャレンジスポーツDAY、やまびこドームでの大型イベント時に乗車体験を行った。 自立支援事業所に通年で公園内の整備(花壇作業・草刈・除草等)を依頼し、自立支援への協力を行った。 体育館2階の測定室に雨漏りの痕跡があったため、原因を調査し対応した。 長期駐車車両、放置自転車等に対し、県や警察、その他の機関等にも相談し、車両の撤去に努め、改善した。 切り株を利用したベンチが腐朽したので、一部を基礎に使用し、ベンチを更新した。

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

<ul style="list-style-type: none"> マレットゴルフコースの標識を明確に表示して下さい。⇒ コース表示のペンキ塗り直しをした。 壁打ちテニスの舗装にクラックがある ⇒ クラックの雑草と土を除去し、常温合材を充填した。 園路にあるバルブボックス部の段差解消をお願いしたい ⇒ バルブボックスを嵩上げし、常温合材で舗装した。 テニスポスのクランク回しのネジが緩んで閉まらない。⇒ ネジの交換、点検の実施 ハーフコースの案内板が見えにくい ⇒ 案内板11枚を新しいものを作り替え、1カ所増設した。 大芝生広場を臨時駐車場として利用したことにより轍ができ、草地に凹凸ができた ⇒ バックホウで整地した。 園内に距離表示を出してほしい ⇒ 1kmごとの表示に加え、500mごとの表示を設置した。

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	評価
施設の目的に沿った管理運営	<ul style="list-style-type: none"> 協定書、仕様書及び事業計画書に基づき、年間維持管理計画に従って管理運営を実施したほか必要に応じて県と打合せのうえ、臨機応変な管理運営を行った。 内部講習会の実施、外部講習会への出席、他県で開催されている全国緑化フェアへの視察や公園管理運営士・建築設備検査員・グリーンアドバイザー等の資格取得を奨励してスタッフの知識向上に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 協定書、仕様書及び事業計画書に基づく管理運営を実施したと認められる。また、施設清掃や植栽剪定等を定期的実施し、質の高い維持管理を行ったと認められる。 施設管理者として、高い意識を持ち、20以上の研修会に参加しており、管理運営能力の向上に努め、丁寧な接客を心掛けていると認められる。 	A
平等な利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> 利用者調整会議を実施し、平等な利用を確保した。 H30年度の一般受付を事前にHP等で告知の上、3月2日から開始した。 モラル・マナーの注意喚起看板を重点箇所を設置し平等な利用を図った。 アルウィン無料開放を県と協働で開催し、アルウィンの芝生を一般開放した。 	<ul style="list-style-type: none"> 1、2月に、翌年度のスポーツ施設等の利用について、公共、連盟、協会等へ出席をお願いし、2日間に渡る利用者調整会議を開催し、年間を通じた平等な利用確保の実現に努めたと認められる。 個人等の平等な利用の確保についても、受付開始前にホームページ等による事前周知を行ったり、モラル、マナーの注意喚起の看板を設置したり、利用者が平等に利用できる公園の実現に努めていると認められる。 	A
利用者サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> リニューアルされたホームページを活用しFacebookからの情報発信をはじめ、大切なお知らせ・花の開花状況・イベント情報など発信した。 園内一斉安全点検を行い、不具合箇所の修繕を行った。 アルウィンの散水設備更新・芝生張替や音響設備更新など県発注工事に対し、円滑に進むよう県と密な打合せを行い、無事予定の大会開催に至った。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな情報ツールを活用して、大切なお知らせ、花の開花状況等情報をリアルタイムに発信する工夫をしており、利便性の向上に努めていると認められる。 園内一斉安全点検を行い、早急に不具合箇所の修繕をすることで、利用者が安全に安心して利用できるよう努めていると認められる。 	A
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 県と共催して緑化講習会を開催し好評を得た。 親子自転車教室を新規に開催し、警察の方が用意した標識や実際の事故写真を見せてもらいながら安全運転の意識向上を図った。 総合型地域スポーツクラブ「skipまつもと」では、引き続きソフトテニス、サッカー、チアダンス、陸上教室を毎年開催したほか、指導者派遣を行い近隣中学校の陸上競技指導も行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 春のランニングフェスティバル、緑化講習会、新規の親子自転車教室等、40以上の事業を企画し、年間延べ1万6千人の参加を見た。 魅力ある自主事業をととして、公園の利用者増、知名度向上に貢献したと考えられる。 	A
職員・管理体制	<ul style="list-style-type: none"> 常勤職員:32名、非常勤職員:4名、計36名 仕様書及び事業計画書に基づく職員配置を行うとともにメイン会場として予定されている全国都市緑化フェアや全国規模の大会への対応強化のため本部と連携し体制の強化を図った。 有資格者による施設点検を適宜実施し、安心・安全な公園づくりを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の業務管理として職員を正確に配置するとともに、イベント等混雑時は対象施設へ重点的に職員を配置した また、平成31年に開催される全国都市緑化信州フェアや全国規模の大会に向けての体制強化も図られている。 施設管理、電気、清掃等の複数の専門分野からなる組織の特徴を生かし、緊急対応を含めて迅速かつ適切な公園管理を行い、安心・安全な公園を確保したと認められる。 	A

(様式2)

<p>収支状況</p>	<p>●本業と自主事業の収入合計511,326千円に対し支出合計498,939千円で12,387千円の収支差額となり、安定した運営を行うことが出来た。 ●アルウィン、やまびこドーム、陸上競技場のデマンド管理を徹底し、光熱水費の削減に努めた。 ●園内外灯をLED化し、電気使用量を削減した。 ●提案書人件費予算85,190千円に対し、H29年度実績88,462千円(増減の理由:継続雇用によるペースアップと全国規模の大会やイベント対応への人員強化)</p>	<p>・12,387千円の収支差額があり、安定した運営ができています。 ・アルウィン、やまびこドーム、陸上競技場のデマンド管理を徹底した他、園内外灯のLED化により、光熱費削減に努めた。 ・日々の仕事、研修等で経験を積んだ職員が、意欲を持って勤務にあたれるよう、給与待遇面での改善努力を行っている。</p>	<p>B</p>
<p>総合評価</p>	<p>●毎年開催される大型イベントに加え、新規大型イベント・全国規模の大会が増えたが、円滑に進むよう打ち合わせを行い問題なく開催された。 ●開催予定の全国緑化フェアについても、県や協力団体などと密な打ち合わせを行い、円滑な公園運営を心掛けた。 ●日々の努力の積み重ねや、安心安全な公園づくりの結果として、新規のイベント開催等につながった。</p>	<p>・協定書、仕様書及び事業計画書に基づく管理運営を適切に行い、植栽や施設の美観が細かいところまで確保され、快適な公園空間を提供している。大型イベントや大会も数多く開催され、自主事業と合わせて、日々多くの方に公園を訪れていただいた。 ・日常の巡回パトロール等を通じ、安心・安全な公園を実現することができた。 ・利用者満足度調査のため公園内に設置した目安箱(言いたい放題)や自主事業イベント参加者への各種アンケートに寄せられた意見、要望に真摯に向き合い、利用者の立場に立った公園管理を行った。(有料無料施設利用者を対象に半年間行ったアンケートでは、公園の満足度について、「満足、やや満足」が80%と高い評価が寄せられた。) ・平成31年に開催される全国都市緑化信州フェアや1万人を超える大型イベント等の運営に際し、主催者側と綿密な打ち合わせを行い、適正かつ円滑な対応ができたことと認められる。</p>	<p>A</p>

<評価区分> A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	所管課
<p>施設の管理運営の課題</p>	<p>●利用者の増加に伴う各種要望への対応および支出の増加 ●法律の改正によって新たに必要となる建築確認や各種検査、点検、要望に対応できる柔軟な組織づくり ●公園利用者からの多様な要望を聞きつつ、適正で公平、平等な利用となるよう中味を精査し、対策と提案の実施。 ●老朽化する施設や備品に対する予防的修繕体制の確立。 ●安定的な人数と収入の確保に向けた対応策。</p>	<p>・広域公園として、多くの方が利用する空間と施設を有する県民の貴重な財産であるため、各施設の長寿命化を図りながら、今後とも安心・安全な公園を保持する。・集客力のある大型イベントの増加に伴い、様々な要望が寄せられるが、イベント主催者側が行うべきことと、公園管理者が行うべきことを整理し、訪れる人の安全を確保するとともに、満足度を向上させていく姿勢が必要である。 ・公園の利用促進につながる新規イベントの誘致、魅力的な自主事業の開催、公園ホームページ、パンフレットによるPR活動、アンケート等に表れる利用者の声を参考とし、ニーズに則した公園を表現し、今まで以上の利用拡大につながるよう取組が必要である。</p>

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

【実施年月日:平成27年12月14日】

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課
<p>【施設の目的に沿った管理運営】 1. 積極的に内部講習会や外部研修会に参加し、スキルの向上やDIM修繕の意識強化に努めていて良い。今後は、職員のキャリアアップや人材育成にも力を入れていけば、施設全体の活性化、顧客へのサービス向上に役立つと思う。 2. 施設の長期的な存続を実現するために県への適正正確な情報提供をお願いしたい。 3. 協定書、仕様書等に基づく管理運営に努めている。 4. 広大な敷地の管理を職員の専門性を活かしつつ、情報端末を駆使することで少人数の職員でこなしている。 5. 職員の接客、マナーが素晴らしく、継続して欲しい。 6. トイレなどが気持ちの良い使い勝手となっており、芝の管理等も適切に行っている。また、寒冷地での施設管理が適切にされている。 7. 老朽化が進んでいる施設を良好な状態に保っていくための取組を十分にしている。</p>	<p>H29年度、公園管理運営士1名・建築設備検査員1名・グリーンアドバイザー1名の資格取得。内部講習会・外部講習会(年23回の研修及び講習会等)に参加するとともに人材育成に力を入れ利用者サービス向上に努めた。 月次検査時等において、施設管理運営に関する情報提供と技術提案するなど、長寿命化を含む県の施策実現に向け、協働して取り組みを行った。 協定書、仕様書等に基づく管理運営に努め、職員の専門性を活かしてDIMによる施設修繕を行い、施設管理を適切に実施した。</p>	<p>・指定管理者へは、指定管理者業務を長期間担っており、質の高い維持管理にあたっているが、本評価を機に改めて、日々の業務、研修が形骸化している面はないか、コンプライアンス、ホスピタリティに欠けることはないか、注意するようお願いしました。 ・日常の管理運営において確認した情報の提供及び施設の長寿命化に向けた提案に取り組むよう指導しました。</p>
<p>【平等な利用の確保】 1. 適切な時期での利用者調整会議の開催により、団体の平等な利用が確保されていることが良く、利用者アンケートの高評価にもつながっている。 2. 一方で、長期間継続して会議運営を司ることにより感覚が鈍るリスクがあることも認識して、利用者に対して機会均等を保証する環境を継続して整えてもらいたい。 3. 県の施設として全県民に向けた効果的な広報活動を期待する。(県広報による働きかけを) 4. 対象が変われば、広報や告知の手法も変わる。年齢、地域、職域等のニーズに対する研究が有効である。 5. 「スポーツへの関心ゼロ」といった県民に公園の魅力、利用価値を伝えていく発想が欲しい。 6. 公園ボランティア登録によりシニア層へ参加促進を。 7. 支えるスポーツでマレットゴルフ場のマナー推進を。 8. 一般への無料開放日も考慮のうえ実施されている。</p>	<p>適切な時期(1月・2月)に利用者調整会議を開催し、引き続き利用者(62団体)に対して機会均等を保障する環境継続に努めた。また公園管理に生かす為アンケート調査を実施した。 ホームページの更新、Facebookを活用した幅広い情報発信、広報活動を実施した。 充実したボランティア活動となるよう事前打合せを密に行い、参加推進及び公園利用のマナー推進の周知を図った。</p>	<p>・利用者調整会議参加者の声を聞きながら、適切な時期に開催をし、団体の平等な利用が図られるようお願いをしました。 ・ホームページやFacebook等を活用した幅広い情報発信を始め、多くの県民に公園を利用してもらえようPRするよう指導しました。</p>

<p>【利用者サービス向上の取組】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 長野県のACEプロジェクトに合致する利用が可能な公園であり、県の施策に沿った企画の事業を期待する。 2. 広報紙を主に小・中学校などの一部にしか配布していないのが残念である。もっと幅広い世代に見てもらうため、多くの場所(地域づくりセンター、公民館等)に配布して、よりたくさんの方の利用につながれば良い。 3. 子ども達が来てもらえるよう子ども向けのPRを。 4. 外遊びができなくなっている子どもや孤立化する高齢者をターゲットにサービスを展開して欲しい。 5. 会議室利用(特にスポーツ団体へ)のPRができればと思う。 6. 来場者以外の県民にアンケートを実施してみようか。 7. 紙には残らない生の声におけるクレームや建設的な意見を、現場で共有すべきもの、県と共有すべきものに整理する仕組みを検討して欲しい。 8. 職員の接客態度が好評であり、各年齢層の職員のエネルギー感を感じられた。 9. 意見ポストに丁寧に答え、対応している。 10. トイレを始め、施設の管理、清掃が行き届いている。 11. ブログでの発信など、努力している姿勢が良い。 	<p>ACEプロジェクトなど県の施策に沿った公園特性を活かした「春のランニングフェスティバル」・「信州大学マラソン」・「年末走り納めランニング」・「ナイターランニング」を企画開催した。</p> <p>広報紙の配布エリアを拡大し公園利用の拡大を図った。ホームページやFacebook等のSNSを活用し、全ての世代が参加できるイベントの告知、会議室利用の告知を展開した。</p> <p>月次検査時等において、利用者からの声に関する情報を提供し協働して取り組みを行った。</p> <p>若年者就労支援の一環として、施設管理、清掃活動に取り組み、利用者サービスの向上に努めた。「言いたい方台」の意見への対応を実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやFacebook等を活用した幅広い情報発信を始め、多くの県民に公園を利用してもらえるようPRするよう指導しました。 ・公園の活性化、PRIにつながるようさらなる魅力ある自主事業の企画をお願いしました。 ・アンケートや投書から利用者の声を拾い、公園のサービス、利便性の向上につなげるよう指導しました。
<p>【自主事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. おもしろ自転車やニュースポーツなど、レクリエーションな環境が用意されている。 2. 自転車のレンタルは、知人からも好評であり、引き続き、利用者増加とサービス向上に努めて欲しい。 3. 多岐にわたる事業の実施により、利用者数増加の効果があがり、継続的な実施を期待する。 4. 環境に恵まれている「SKIP総合型スポーツクラブ事業」が、総合型スポーツクラブのモデル事業にまで成長することを期待する。 5. ホースシューズやインディアカなどの馴染みのないニュースポーツの紹介があるとよい。 6. 今後の検討では、今まで公園に来たことのない人を引き寄せるようなイベントも考えてもらえればと思う。 7. 「春の松本ランニングフェスティバル」のような大イベントを他の季節でも企画できれば素晴らしい。 8. 花の会等のボランティア活動が盛んになればと思う。 9. 利用者団体へボランティア活動の働きかけを行ってはどうか。 	<p>自転車貸出・おもしろ自転車などの貸出事業は、日々の整備と合わせ随時更新をし、サービス向上に努めながら実施した。</p> <p>馴染みのないニュースポーツ等についてはスカイパーク通信を通し紹介を行った。</p> <p>新規イベントとして「緑化講習会(県と共催事業)」・「落ち葉を有効活用しませんか?」・「親子自転車教室」を開催した。</p> <p>夏のランニングイベントとして「ナイターランニング」を開催した。</p> <p>経験豊かなシニア世代や女性、あるゆる世代の方々が力を十分発揮できるよう花守の会、マレットゴルフ、利用者団体等ボランティア活動を実施し公園美化を図った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の活性化、PRIにつながるような魅力ある自主事業の企画をお願いしました。 ・様々な機関と協働することで、ユニークな事業を企画し、公園になじみのない方にも来園してもらえるような取組をお願いしました。
<p>【職員・管理体制】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職員研修により、危機管理、安全配慮、接客意識が醸成されており、今後も職員の質の向上を図って欲しい。 2. 共同事業体は、組織一丸で一つの方向に向かっていく事が難しい面を孕んでいるため、職員全員がモチベーションを高め、同じ目標、方向を目指すことを阻害する要因がないか検証し、それを取り除く取組を進めて欲しい。 3. 就業規則の内容、36協定ともに適正である。 4. 社会保険加入状況、長時間労働の有無、シフト勤務内容等、適正な労務管理が行われている。 5. 利用者のトラブルには複数職員で対応しており、防犯カメラ等も活用されている。 6. 各グループが、チームとして機能している。 	<p>安心安全な公園を実現し質の高いサービスを提供するため、職員研修を実施し危機管理・安全配慮・接客マナー向上とコンプライアンスの順守の徹底を図った。</p> <p>常に業務の見直しを行い共同企業体として、組織一丸となって管理運営に努めた。職員が生活を充実できるような無理のない勤務シフト・適正な労働管理を行い業務を遂行した。</p>	<p>指定管理者へは、指定管理業務を長期間担っており、質の高い維持管理にあっているが、改めて日々の業務、会議、研修が形骸化している面はないか、コンプライアンス、ホスピタリティに欠けることはないか、注意するようお願いしました。</p>
<p>【収支状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大規模な改修が予定されている場合は、計画の段階で収入見込みを減らす等の対応が必要である。 2. 老朽化が進み、今まで以上に修繕費が増える方向にあり、長期的視点から修繕・維持管理費を最小化させるために指定管理者としてできることを検討して欲しい。 3. TOYBOXは県と松本市の指定管理を受託しており、受託事業ごとの決算報告書を作成することで県と市への事業報告としている。会計監査人の監査により、事業体全体の決算報告書には適正意見が付されているが、受託事業ごとの決算報告書は監査対象外であるため、本部経費の配賦の適切性については監査されていない。本部経費の配賦方法により事業別の損益が大きく変化するため、基準が適切か、継続して同基準が適用されているか、予算と大きく離れた場合の分析などについては、県もモニタリングによる確認が必要である。 	<p>改修工事時の打合せ等を行い収支を予想し計画・見直しを実施した。</p> <p>予防修繕の観点から、修繕・維持管理費を最小化させる検討を行い、できる限り長寿命化に努めた。老朽化が避けられない事項については引き続き県と協議しながら対応を行った。</p> <p>県と市の本部経費の取扱いについては、引き続き同基準で継続し年度ごとのブレが無いよう努め報告をした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理において確認した情報に基づいた修繕、維持方法の提案を県へ行う等、効果的な運営に取り組むよう指導しました。 ・指定管理者として適切に予算を執行しているが、毎月の月次検査や事業完了検査を通じて確認してまいります。
<p>【総合評価】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在の指定管理者を決める公募ではTOYBOXのみ応募であり、他者との競争がなかったことで協定の条件が甘くなった、管理の質が落ちたなどと言われることのないよう、今まで以上に意識を持って適切な管理運営を目指して欲しい。 2. 一度に数万人規模のイベントもあることから、今後も安心・安全な運営を続けてもらいたい。 3. 接客やマナーへの評判もよく、適切な管理運営である。 4. 管理体制が毎年向上しており、高く評価できる。 5. 職員の主体性や意欲が具体的であり、一人ひとりの意識の高さを感じられた。 6. 施設管理(ハード)について、多角的な視野・方法で維持・管理・修繕等がなされている。 	<p>ご来園いただいた方が、気持ちよく利用し満足していただけるよう、公園の管理運営に努めた。職員のスキルアップを図るため職員の資格取得の推奨、研修会等を実施した。</p> <p>県のACEプロジェクトによる健康増進、信州まつもと空港国際化による外国人観光客の増加への対応、施設の老朽化に伴う不具合(非常用発電機・配管等)の対応の検討を行い、限られた予算で維持管理運営を行った。</p>	<p>アンケート等に表示される公園、職員に対する高評価、好印象を持続し、さらに向上させるために、「県民から管理を任せられている。」という意識を常に持ち、安心・安全な公園の管理運営に当たるよう指定管理者を指導しました。</p>